



## 『京洛の森のアリス』

望月 麻衣／著  
文藝春秋／刊  
(2018年)  
文春文庫  
書影1巻

請求記号 YA モチ

幼い頃に両親を亡くし、叔母の家に引き取られた「ありす」。だが叔母の家では居場所がなく、三月の寒さの残る東北から遠く離れた京都へ舞妓修業に行くことを決意した。ありすを迎えにきた老紳士に案内されやってきたのは、ありすの知らない都、京、京洛の森であった。そこで出会う現実離れした出来事の数々、幼い頃のありすの思い出と京洛の森の関りとは…？あなたがアリスだったらいつまで京洛の森にいられるでしょうか。(襟)



## 『笹森くんのスカート』

神戸 遙真／著  
みすず／画  
講談社／刊  
(2022年)

請求記号 YA コウ

ある日突然、クラスのイケメン笹森くんがスカートをはいて登校してきた。ざわつくクラス。彼はLGBTなのだろうか。それは物語のラストに明かされる。思春期に何かしらの想いを抱く者たちの短編集であり、男の子がスカートをはいただけでいろいろ思案してしまう日本の実態。これからより重要になってくるであろう多様性について理解をしたい少年少女一読あれ。(スポンジ)

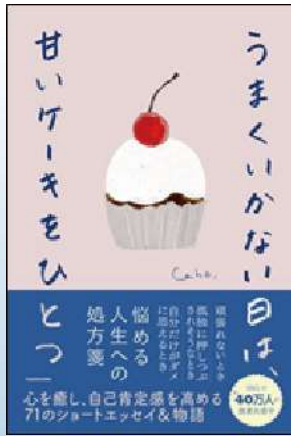


## 『魔法使いのハーブティー』

有間 カオル／著  
KADOKAWA／刊  
(2013年)  
メディアワークス文庫

請求記号 YA アリ

小さい頃、シングルマザーだった母を亡くした勇希。親戚中をたらいまわしにされ、夏休みの間は初めて会う伯父の家に行くことに。意外なことにそこはカフェだった。住むためにした約束は、「魔法の後継者として、真摯に魔法の修行に励むこと」というもの。そもそも魔法って何？カフェで始まる、勇希の心の変化にも注目です。(みたらしだんご)



## 『うまくいかなない日は、甘いケーキをひとつ』

Caho／著  
KADOKAWA／刊  
(2022年)

請求記号 YA 914/カ

パステルカラーのふんわりとしたイラストが多めのエッセイ本です。嫌な態度や悪意のある言葉を言われた時に参考にしようと思った箇所です。「私を大事にしない人は大事にしないでいいの。そんな人に体力と思考と時間を奪われたくない。大切にしてくれる人を大切にしたらそれでOKだから。」みなさんもうまくいかなない日は、この本を読んでみませんか？(いぬだいすき)



## 『錆喰いビスコ』

さびく  
瘤久保 慎司／著  
KADOKAWA／刊  
(2018年)  
電撃文庫  
書影1巻

請求記号 YA コフ

かつて東京と呼ばれた場所には、巨大な爆心穴が空いているのみである。全てを錆びつかせ砂に帰す<錆び風>の恐怖におびえた人類は、壁に囲まれた城砦都市・忌浜で安穏とした生活を送っていた。師父を死病・サビツキから救うために霊薬キノコ<錆喰い>を探す旅をしていた「キノコ守り」赤星ビスコは、侵入した忌浜で相棒となる少年医師ミロと出会う。邪悪な脅威を、二人の矢で打ち砕け！

(ATU)



仙台市の各図書館はこちらでチェック

仙台市図書館HP  
← <https://lib-www.smt.city.sendai.jp/>

電子図書館始めました。

せんだい電子図書館HP  
→ <https://web.d-library.jp/sendai/>



Twitterもやってます。

アカウント名 仙台市図書館 (@sendai\_lib)